

定性評価の予測	作成日付	更新日付	作成者	承認者
ID:2-1s-00400				



2. 定性効果の予測（200X 年度末）

定性効果の内容	前提となる施策	変更前情報および変更理由
・業務時間の削減	・システム導入、制作体制変更	
・業務遂行上の確認、問い合わせ件数の減少	・システム導入、制作体制変更	
・効果の向上	・情報誌リニュアル	
・顧客への提案件数の増加	・システム導入	
備考		